

2021年度 第6回 理事懇談会 抄録

日時：2022年3月5日（土） 16:00～16:40

場所：WEB会議

出席者： 理事：齊藤、内山、大工谷、吉井、湯元、清宮、佐々木、白石、森本、網本
板倉、大淵、小川、梶村、高橋（哲）、高橋（仁）、田中、谷口、
友清、西山、藤澤

監事：太田、櫻田、辺土名

欠席者： 理事：黒澤、松井

監事：なし

I. 協議事項

（全2題）

1. 2023年度概算要求・税制要望に向けた議論の進め方と要望項目候補について（大工谷副会長）

2023年度概算要求・税制要望に向けた本会のスケジュール及び要望項目候補について意見交換がなされた。理事からの詳細な追加意見等についてはメール等で受けることとなった。

【主な意見】

- ・概算要求をすることに賛成。春になると各団体が概算要求に厚労省へ足を運ぶ時期であり、スケジュールについても違和感はない。
- ・臨床実習に関する研修について、国が持ち出しでやるべき等の意見も盛り込むべきではないか。

2. 医療保険、介護保険、その他におけるリハ・理学療法マーケット規模の確認。推定できる範囲でいいが医療保険、介護保険、その他で理学療法の報酬総額はどれくらいかの資料をご提示いただき、リハ・理学療法の使い分けについて議論したい。（大淵理事）

理事会や賛助懇談会等の場において、齊藤会長が「リハビリテーションと理学療法の言葉の峻別」と発言したことについて、齊藤会長よりその発言の意図について説明がなされたうえで、標題の件についてあらためて意見交換がなされた。

以上